

令和4年度平塚市イクボスプロジェクトについて 視聴アンケート結果

◆実施概要

日時：令和4年11月11日（金）9時～12月9日（金）9時

場所：オンラインによる動画配信

「職場におけるアンコンシャス・バイアス～女性活躍推進を阻害する無意識の思い込みとは～」

（講師）株式会社マイキャリア・ラボ パートナー講師

ハッピーライフ・サポート 代表 日下部 令子 氏

（講演内容）

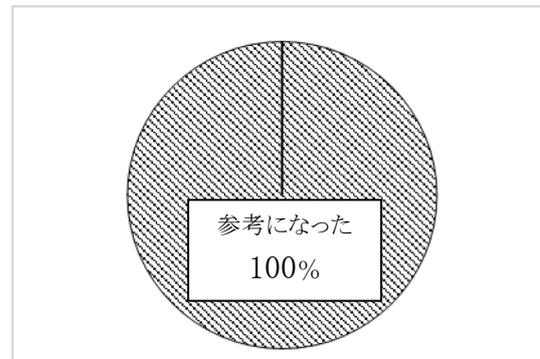
- 1 将来予測が困難な時代において企業が持続可能な発展をしていくためには女性をはじめとする多様な人材の活用が欠かせないなかで、性別によるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が女性活躍を阻む要因の1つとして考えられていることから、アンコンシャス・バイアスとはどういうものか、それがどういった場面で出てくるのかなどの具体例や対応策を講演いただいた。
- 2 イクボス宣言登録企業への事前アンケートの回答結果の紹介
- 3 イクボス宣言企業登録制度の概要の紹介
- 4 イクボスプロジェクトの実施に賛同いただいたイクボス宣言登録企業名の紹介

◆視聴回数 310回

◆アンケート結果（n=11）

1 講演の内容はいかがでしたか

回答項目	件数	割合
参考になった	11	100%
参考にならなかった	0	0%
もっと詳しく聞きたかった	0	0%



2 上記で選んだ項目について、どの様な点が教えてください。

【「参考になった」と回答した方】

- ・自分の気が付かない間に、相手にストレスや不快等、傷つけていたなと反省しております。
- ・具体的な話、経験談が多かったので、今後そういった場面に遭遇した時に、どのように対応すべきかが参考になった。
- ・思い込みや決めつけ等は人を不快にさせる、と話の中にありましたが25年前、共働きを始めた頃を思い出しました。当時は、共働きの家庭が少なかったので、職場でもそれは奥さんがする事などと、当時の上司から言われることがありました。このような経験から、自分が感じたこのような思いはしてほしくないと考えているので、今回の講演は非常に参考になりました。
- ・具体的事例が多く分かり易かった。性別・年齢ごとの調査結果をもとに自分がどうなのか？が比較でき自分事として捉えやすかった。
- ・アンケートについての具体的な分析があったことで、社会全体と自分自身の立ち位置を相対的に理解することができました。／女性登用に関する社内プロジェクトメンバーであるため、日頃から「アンコンシャス・バイアス」や「思い込み」には気を付けているつもりでしたが、気が付け

ない部分があることをより認識致しました。／主語を「女性」とするのではなく、「誰もが」とするようなイメージで、性別以外の区別についても、不利益な凸凹ができるだけフラットになる社会を達成していきたいと感じています。

- ・チラシを見て視聴しました。アンコン、一概にマズいものか・・・と思って見始めましたが、最後までお話を聞き、必ずしも悪ではなく、「思い込み」を「経験値」としてとらえ、そのうえで「そういうもの」という決めつけではなく「以前はそうだった(こともあった)が今回の相手はどういう意見だろう。聞いて確かめよう」の姿勢でいけばよいのかな、と感じました。

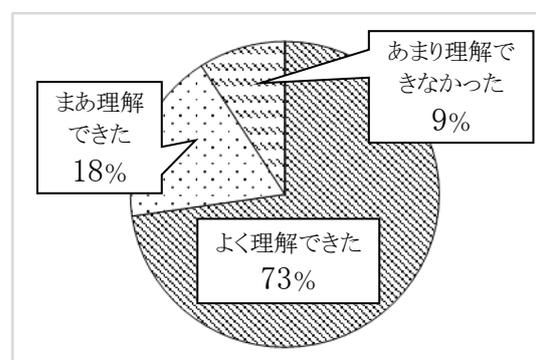
育休明けの復職時、自分は保育園からの急な呼び出しに備え、仕事の見える化・マニュアル化した。迷惑がかかると嫌なので大きな仕事は避けたい。…でもそれは自分の時であって、だれでもそうとは限らない。経験や自分の体験が、逆にデメリット(決めつけ)となりがちなこと、今後注意していくことと気づきました。

また、「自分の経験(成功も失敗も)」「相手の意向を聞く」など、子育てでも使えると思いました。「あなたのためを思って言っているのよ」が職場よりも露骨に出る場面かと、ハッとしました。耳と十四の心で聴く…心にとめて生活していきたいです。良いお話を聞きました。

- ・声掛けへの配慮。特に良かれと思って声をかけたとしてもやる気を削いでしまうことがあることについて、大変参考になった。今一度、声掛けについて、注意を函りたいと感じた。男性職員だから、ベテランだから、資格があるから等、プラス面にもマイナス面にも結び付きやすい部分について、改めて個々の職員を思い込みや決めつけで判断せず、コミュニケーションを取るようしていきたい。
- ・アンコンシャス・バイアスに対する考え方からどうしたら職場環境が良くなるか？組織のパフォーマンスが良くなるか？まで具体的に教えて下さりとても参考になりました。

3 アンコンシャス・バイアスについて、理解できましたか。

回答項目	件数	割合
よく理解できた	8	73%
まあ理解できた	2	18%
あまり理解できなかった	1	9%
理解できなかった	0	0%



4 講師への疑問・質問

- ・決めつけた発言がアンコンに繋がる。という認識を致しました。

ジェンダー視点で考えると、男女という区別

年齢でいうと高齢と若年という区別

このような「区別」という捉え方をすることがアンコンに繋がりがやすいということでしょうか。

- ・思いやりのあるコミュニケーションのために必要な考えをお伝えいただき、ありがとうございました。

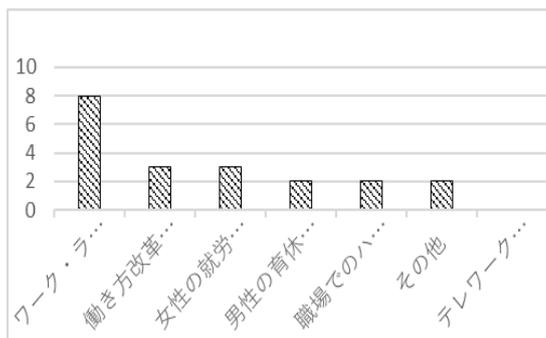
アンコンシャス・バイアスを意識している人物と、アンコンシャス・バイアスに気が付かない人物とがコミュニケーションをする時、アンコンシャス・バイアスを意識している人物の方が、よりストレスを感じる状況が生まれそうだと感じました。このアンコンシャス・バイアスについて、政府や行政機関は、何か具体的な目標・指標を設定しているのでしょうか？

- ・アンコンシャス・バイアスについて、職場内はもとより地域社会においても広げていければと感じました。どのような手法で地域へ広げていけばよいのか、実践例を含め、お話を聞けたらと思います。

5 今後、どのようなテーマであれば講演会等に参加されたい・視聴されたいと思いますか。

(複数回答)

回答項目	件数	割合
ワーク・ライフ・バランスの実現	8	73%
働き方改革につながる ICT 活用	3	27%
女性の就労継続やキャリアアップ	3	27%
男性の育休取得の促進	2	18%
職場でのハラスメント対策	2	18%
その他	2	18%
テレワークの推進	0	0%

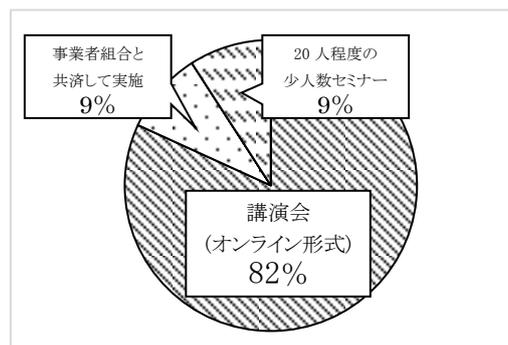


【「その他」と回答した方】

- ・イクボス＝経営者・管理職（ボス）だけの問題。がアンコンかも？と思いました。また、これまでの「経営者・管理職＝ボス」主体の講演から少し脱線してみて、将来のボスである中堅～若手の意識変化を目的とした講演でもよいのではと思います。もっと遡れば、学校でのイクボス教育になります。
- ・フルタイムの正社員採用が難しい状況のため、時短社員で業務を構成する必要性を感じています。ターゲットは時短正社員で働きたい女性ですが、そのために必要な制度・仕組みが知りたいです。

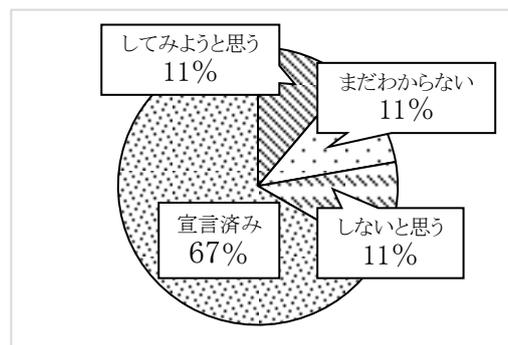
6 どのような開催方法が参加しやすいですか。

回答項目	件数	割合
講演会（オンライン形式）	9	82%
事業者組合等と共催して、研修に位置付けた実施	1	9%
20人程度の少人数のセミナー	1	9%
講演会（現地参加形式）	0	0%
講演会（現地・オンライン形式）	0	0%
事業所への講師派遣	0	0%



7 講演動画を視聴して、『イクボス宣言をしてみよう』、『登録制度に参加してみよう』と思われましたか。(n=9)

回答項目	件数	割合
してみようと思う	1	11%
まだわからない	1	11%
しないと思う	1	11%
宣言済み／登録済み	6	67%



以上